

【5-4】

湾・灘の区分	紀伊水道、播磨灘
取組の名称	未来へつなぐ「とくしま SATOUMI」推進事業における「里海」創生リーダーの育成
事業期間及び事業費	事業期間：平成30年度～継続実施中 事業費：令和元年度 300千円
事業体制	【管理、バックアップ、運営等】 徳島県県民環境部環境管理課 【講師派遣】 徳島県立博物館、阿南工業高等専門学校、徳島県立保健製薬環境センター他 【育成講座実施】 特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター
事業の背景・目的	人の手が加わることによって、美しい景観が形成され、生物多様性と生産性が確保されている豊かな海「里海」を創生し、次世代に継承していくためには、地域における里海づくりの啓発、活動を自らが主体となって牽引する「リーダー」が不可欠である。このため、地域における主体的な「里海づくり」活動を支える人材等を育成し、新たに『「里海」創生リーダーの認定』を開始した。
事業場所の詳細	徳島県内
事業内容	○「里海」創生リーダー育成講座開講 とくしまSATOUMIリーダー、とくしまSATOUMIジュニアリーダーの育成 ○とくしまSATOUMIスクールの開講 水辺に近い小学校を「とくしまSATOUMIスクール」に指定し、年間を通じた環境授業や生物調査、清掃活動を実施し、とくしまSATOUMIジュニアリーダーに認定
モニタリング方法(効果・影響の確認方法)	○調査項目：「里海」創生リーダー認定者数 ○調査時期・頻度：年1回
取組による効果・影響及びその判断基準等	平成30年度認定数 とくしまSATOUMIリーダー 15名 とくしまSATOUMIジュニアリーダー15名 とくしまSATOUMIフレンドシップ団体3団体 環境保全イベントでの水質保全の普及活動を実施(リーダー、団体などで11名参加)
モニタリング結果の分析及び活用の方法	リーダーの認定者数の状況を『「未知への挑戦」とくしま行動計画』で年度ごとに公表している。
現状での課題	【課題】 ・リーダーとして、活動を牽引するための知識、経験の不足 ・環境分野以外との連携不足 ・ジュニアリーダーの今後の活動の支援 【対策】 ・認定者を対象としたステップアップ講座の開催、認定者間の繋がり、活動の場の提供 ・水産、農林、観光分野等、他分野との連携充実 ・卒業後のフォローアップ
今後の予定等	
取組事例についての発表資料等	瀬戸内海環境保全小委員会(第15回)資料
情報提供元	徳島県 県民環境部 環境管理課